

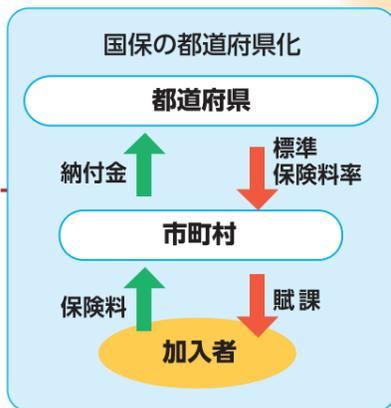
# おおくわ初枝

2回目の  
質問です!

## 国民健康保険について

### 高すぎる保険料、保険証取上げ 都道府県化による徴収強化はやめよ!

保険料算定方法が、住民税方式から旧ただし書き方式に変更されて3年目。本市加入者の4割が、保険料引上げとなり、高すぎて払えない世帯が後をたちません。



#### 本市独自の減免制度で 誰もが払える保険料に!

国保加入者は、かつて自営業や農林水産業者が主でしたが、労働法制改悪で派遣社員、アルバイト、パートも増えており、生活困窮者に保険料を減額している他都市に習い、本市独自の減免制度を拡充すべきです。

市長

激変緩和措置は、これまでも充分対応してきている。27年度も国の軽減制度が拡大されており、本市独自の拡大は考えていない。

#### 国民皆保険のもと、滞納者への 保険証取上げはやめよ!

市町村は、すべての国保加入者に保険証を発行する責任があります。滞納者の保険証を取上げ、窓口全額支払いを求める資格証明書の交付をやめるべきです。

市長

資格証交付は、事務的・機械的に行っているわけではなく、生活実態を把握するため、職員が個別訪問を重ねている。制度維持と負担の公平性から交付せざるを得ない状態だ。

#### 「国保の都道府県化」は 保険料引上げと徴収強化に!

国保の財政運営を国に移管する都道府県化。県が市町に求める保険料は、不足分を上乗せする賦課総額を高めに設定することで、保険料引上げになりかねません。市町の収納がさらに強化され、財産差し押えがひどくなる懸念されます。

市長

市町は引続き徴収・管理・給付決定など、きめ細やかな事業を担う。県にも充分に市町の意見を反映するよう働きかけていく。

## 介護保険制度「補足給付」について

### 制度開始から15年目の冷たい現状、誰もが安心して利用できる制度に!

「みんなで支える老後の安心」を合言葉に、介護保険制度が始まって15年。相次ぐ改悪で、死ぬまで保険料を払いつつけても、まともなサービスは受けられず、今年8月には1割負担がとうとう2割に引上げられ、施設入所やショートステイの方の食費・部屋代の一部を補てんする「補足給付」の対象が厳しくなりました。

#### 厳しい補足給付の預貯金調査はやめるべき!

補足給付を認めるための預貯金調査は、タンス預金を含む資産状況を、申請書とともに通帳の写しまで提出を求められています。認知症の方に代り、ケアマネが通帳を預けるケースもあり、プライバシー上大きな問題となります。

市長

預貯金調査は、利用者負担の公平性を目的とした法律の改正によって行っている。個人情報取扱いには、当然充分配慮したい。

福祉局長

認知症の方に不利益が生じないように、一旦補足給付を決定し、その後書類申請をしていただく。

#### 補足給付が引上げられた方は、生活できない!

夫と世帯分離をして、特養に入所中の80代の女性は、補足給付の対象から外され、月63,000円の利用料が13万円にはね上り年間80万円の負担増に。同居の子ども世帯は大きな不安を抱えています。このままでは施設退所やサービスを減らす利用者も出てきます。

福祉局長

今回の改正は、利用者負担の公平性と制度の持続可能性を目的に実施され、利用者ご家族にその主旨をていねいに説明している。

## 子ども子育て新システムについて

### 保護者の不安を解消し、「在宅通園モデル事業」は慎重に!

公的保育を民営化する「子ども子育て新システム」が始まって半年余り。本市職員や現場での混乱・業務負担が続いています。



#### 今年度のように、兄弟が別々になる心配は?

この10月にも、保育園・認定こども園の申込みが始まりますが、今年度のように兄弟が別々になるのでは、という心配の声も聞かれますが。

市長

保護者のきぼうを優先する調整となるよう、改善したところだ。

#### 保育園と認定こども園の違い、保護者に説明を!

保護者との直接契約である認定こども園ですが、国の方針で市が保育園と一緒に入所調整を行っているため、保育園と認定こども園の違いがわからないまま申込みケースも予想されます。

市長

認定こども園は、法律に基づき直接契約となるため、より一層ていねいな説明を行うよう、各施設に働きかけていきたい。

#### さまざまな問題ありの 「在宅育児家庭通園保育モデル事業」

0~2歳児の保育支援として県が考え出した当事業は、認定こども園に通園させ、定員に満たない園で受入れとのことですが、途中で通常のお子さんが入りたくても入れない事態も予想され、信頼と安全が確保できるか心配です。通常保育のお子さんの入園を保障し、0~2歳児は、地域サロン、夢ステーション、一時預り等の活用が望ましいのでは?

市長

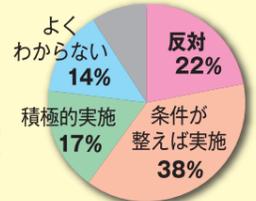
今回の事業は、事前に施設側に調査を行い、今後の途中入所の見込み、保育士の配置状況を充分に見きわめ、通常保育に支障にならないよう実施したい。

## 「ごみの有料化」はおかしい!

ごみ有料化計画の理由は…「有料化で、ごみを減らそう」

これまで、3回のシンポジウムや町会・婦人会への働きかけなどを行ってきましたが…

市民の理解は得られていない!



金沢市のごみは減っている!

中核市 家庭ごみ 少ない順で8位  
43市中 事業系ごみ 多い順で5位

新たに市民負担させることで  
公的責任を減らそうとしている!  
片方で第2庁舎建設に65億円?

他にやるべきことがある!

- ・ストアくるステーション
- ・西部環境エネルギーセンターで自己搬入可に
- ・古紙回収のモデル事業

製造・販売段階からの対策を!  
ごみにならない製品づくり  
過剰包装を減らす努力

家庭ごみ有料化は、根拠をもった施策とは到底言えず、安易に市民に負担を課すもの。環境施策として、大量消費・大量廃棄させられている構造そのもの見直しと、市民の協力、事業者の責任と協力をもって進めるべきです!

## 65歳以上 インフルエンザ 予防接種 負担増 命を守る制度を 切り捨てないで!

本市は、65歳以上の方のインフルエンザワクチン接種自己負担を1200円→1400円に値上げの提案をし、議会ではわが党以外が賛成しました。国が指定するワクチンに含まれる抗原が3種類から4種類に増やされた影響ですが、値上げによって接種率が落ちては意味がありません。本市でも58%の6万人が接種し、健康や命を守っていますし、なにより感染拡大を防いでいます。経済的理由で接種をためらっている方のために値下げこそ必要であり、今回の値上げは許されません。

